

アンケート集計報告書

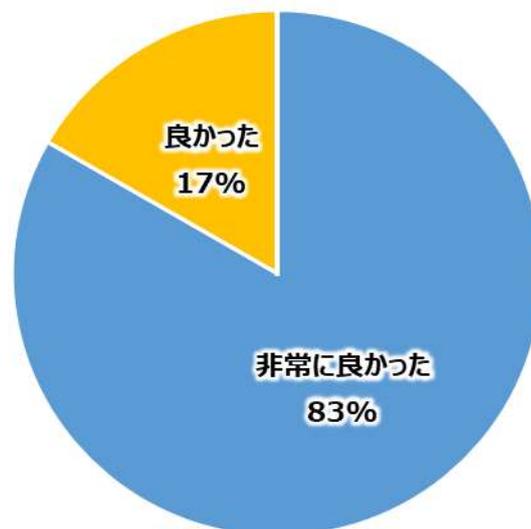
2022年10月 日
一般社団法人愛媛県歯科衛生士会
生涯研修担当 壽川

令和4年度愛媛県歯科衛生士会第5回第5次生涯研修制度 専門研修会についてのアンケート集計結果を報告いたします。

1. 開催日時：2022年10月23日（日）10：00～12：30（Web開催）
2. 参加人数：49人
3. アンケート方法：マイクロソフト アンケートフォーム使用
4. アンケート回答者/回答率：42名/85.7%
5. 内 容：第1回がん患者を支える歯科衛生士のための研修会
「がん治療と口腔ケアの基礎知識」
 - （1）がん治療における歯科の役割
講 師 四国がんセンター 古川 康平 先生（歯科医師）
 - （2）がんセンターにおける歯科衛生士の役割
講 師 国立がん研究センター東病院 岸 玲子 先生（歯科衛生士）

【アンケート集計結果】

本日の研修会について



■ 非常に良かった ■ 良かった ■ 普通 ■ あまり良くなかった ■ 良くなかった ■ 無記入

【質疑応答】

アンケートでいただいた質問に対し、講師の先生からご回答いただきましたので掲載します。

(Q 1) 岸先生が言われていた、含嗽剤のアズノール以外のハチアズレの処方について、聞き逃したので再度教えて下さい。

(A 1) <岸先生>

資料の含嗽薬作成方法に記載しております、アズノール 25 滴の代わりにハチアズレ 2g を 5 包を溶解して使用可と説明しました。

(Q 2) 痂皮を除去する際のお勧めの保湿剤、除去の方法を知りたいです。

(A 2) <岸先生>

当科では、日本歯科薬品「お口を洗うジェル」を使用しています。

痂皮固着強い場合は、お口を洗うジェルを全体に塗布し、ネブライザーを 15~20 分口腔内にあてて、軟化させてから撮子背面で剥離させたり、吸引管で吸引して除去しています。

<古川先生>

当院でもお口を洗うジェルを用いています。

当院はネブライザーを頻用することは難しいので 1 日にすべて取りきることは行わず、塗って 10 分程度経ってから、1 回 10 分程度で患者さんの負担にならない程度に行ってそれを数日間繰り返すという風にしています。

また、病棟でもできる範囲で口腔ケアを行っていただいて、難しければワセリンだけでも塗布してもらおうとしております。

(Q 3) 退院後のかかりつけ歯科との連携について質問があります。当院では口頭でかかりつけ歯科を受診するよう呼びかけることが多いのですが、どのようにされているのでしょうか。

(A 3) <古川先生>

当院では、なにか処置が必要な場合やかかりつけ歯科でのフォローが必要な場合、頭頸部癌術後で歯科治療に注意が必要な場合は、基本的には紹介状を記載しております。特に抗がん剤を行う場合や骨修飾薬使用の場合などは、注意事項を記載しております。また、必ず歯科受診をして欲しい患者さんについては、数カ月後に受信したかどうかの確認を主科受診時に歯科の予約を入れて確認しています。

<岸先生>

かかりつけ歯科がある場合は、歯科医師より情報提供書をお渡しし受診していただいております。かかりつけがない場合は、医療連携室へご案内し、そこでご自宅の近くの受け入れ可能な歯科医院の紹介をさせていただいております。

【感想】

- ・ 大学病院でガン患者の口腔ケアを行なっているため、非常に勉強になりました。
- ・ 本日は貴重なご講演ありがとうございました。
- ・ 総合病院に勤務している為周術期管理に取り組んでいます。現場での参考になる講演でした。ありがとうございました。
- ・ 具体的に分かりやすく現場での症例など見せて頂きありがとうございました。今後に活かしていきたいと思います。
- ・ 貴重なご講演、誠にありがとうございました。歯科医師として周術期口腔機能管理の業務に携わり、まだ半年ほどですが、今後さらに知識と理解を深め、歯科衛生士や多職種と連携しながら病院歯科としての役割を充分発揮できるよう尽力したいと思います。次回も楽しみにしております。
- ・ 大変勉強になりました。講義中の「チーム皆で半歩踏み出すことが大切。半歩でも全員なら患者さんの大きな力になる」という名言に感銘を受けました。本日は誠にありがとうございました。
- ・ 私も周術期に携わる歯科衛生士として、実際に現場で働いている先生方のお話が聞けてすごく良かったです。今の私の病院では周術期の患者さんが年々増えており、医科歯科連携を通してかかりつけ歯科医院に周術期口腔機能管理をお願いするようなトライアルを先月まで行っていたところです。まだ一部の科でしか行えていませんが今後症例も増えていくのでは、と思います。まだまだ続編がある様なので先生方の講演を楽しみにしております。貴重なお話ありがとうございました。
- ・ 貴重なご講演ありがとうございました。口腔粘膜炎の強い患者さんに対して、まずは痛みを取り除くことが大切だと感じました。痛み止めの服用、キシロカインゼリー使用等の方法を教えて頂きありがとうございました。今後の臨床に取り入れていきたいです。
- ・ 第2弾楽しみにしています。
- ・ 大変分かりやすいご講演、ありがとうございました。私たち歯科衛生士ができる、がん患者さんに対するケアは病院からだけでないことを実感しました。怖がらずにお役に立てるよう、しっかりと知識を取り入れていきたいと思います。
- ・ ありがとうございました。